



## 第3次富士見町行政改革大綱実施計画の中間評価について

# 町の行政改革

自立の道を歩み始めた富士見町にとっていかに歳出を減らすかが今後の課題です。今回の中間報告は役場組織内の機構改革は勿論ですが、みなさんにもご理解いただく内容となりました。

### 「第3次富士見町行政改革大綱」策定の経過

町では、平成8年に「富士見町行政改革大綱」を策定し、平成10年に見直しを行い、積極的に行政改革に取り組んできました。しかし、地方分権や少子高齢化の進展など、町を取り巻く環境は予想を上回るスピードで変化しており、新たな視点から町の行政を再構築することが必要となってきました。こうした変化に対応するために、町民の代表10名の皆様により構成された「行政改革推進委員会」にご審議いただき、新たに「第3次行政改革大綱」を策定しました。この大綱の実施年度は、平成15年度から17年度までで、今年は2年目に当たります。

平成16年度の実施状況の中間評価を行い、行政改革推進委員会に報告しました。今回新たに4項目を追加しまし

たが、効率的な行政経営を目指し行政評価を取り入れたのが特に目立った内容となっています。

### 中間評価の総括

町では、実施計画がどのくらい達成できたか4段階(A~D)で評価しています。

平成16年度は、昨年度に比べA評価が増え、一定の成果が出ています。

その他の9項目は、昨年度内に目標を達成していたものです。

評価	平成16年度 中間報告	平成15年度 中間報告
A評価(目標をほぼ達成)	43	36
B評価(目標を目標をやや下回る)	17	20
C評価(目標を下回る)	3	6
D評価(目標を大幅に下回る)	3	8
その他	9	1
計	75	71

### 項目別主な評価内容

- 事務事業の見直し
- \*おたっしや生きがい事業は、敬老年金の77歳を対象外としました。
- \*学校給食調理委託は、富士見高原中学校で実施します。
- \*新たに行政評価を導入し、効率的な行政経営を推進しています。組織・機構の見直し
- \*機構改革で、2課3係削減し、事務の効率化を進めています。
- \*商工振興審議会、中小企業振興審議会をはじめ、統廃合を実施します。
- \*消防団員定数削減は、12月議会で条例化しました。
- \*外郭団体について
- \*自主運営の推進を目指しています。
- \*地縁団体の法人化は、34集落が終了しました。
- 定数管理及び給与の適正化の推進
- \*退職者不補充など職員削減に努めています。
- \*寒冷地手当の見直しをしました。
- 職員の能力開発と多様な人材の活用
- \*職員の勤務実績の適正評価のため、4月から人事考課制度を実施しています。
- 行政情報化の推進等による行政